



こども110番の家 対応マニュアル



こども110番の家の役割

1 子供が助けを求めて駆け込んできたときに

■子供の保護

■警察への緊急通報

■保護者への連絡

を行う活動

2 不審者を発見した時の警察への通報

3 子供への不法行為を認めたときの警察への通報



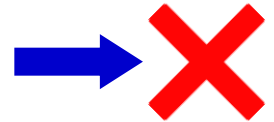
始めるにあたって

■「こども110番の家」プレートの取付位置

子供の目線で見やすい位置に取り付けましょう。



高い位置
障害物で見にくい
道路から見えない



■子供とのコミュニケーションを大切に

子供は、いきなり知らない人の家には駆け込みにくいので、登下校の時間には外に出て、子供達に「おはよう」、「おかえり」等と挨拶をして声をかけ、日頃から顔見知りになるように心がけましょう。

■無理な活動はしない

不審者に対して、立ち向かったり、追いかけたりするなどの無理な活動は絶対にしないで下さい。

■パトネットあいちの登録を

愛知県警のメールマガジンで不審者情報を入手し、みんなで子供を守りましょう。



QRコードを読み取って空メールを送信

子供が駆け込んできたなら

子供が助けを求め駆け込んできたなら、家の中に入れて保護しましょう

■まず深呼吸。自分が落ち着きましょう

駆け込んできた子供は、怖い思いをしたり、危険な目に遭ったりして興奮しています。

皆さんが慌てたり、興奮していたりすると、子供はますます興奮してしまいます。

まずは慌てずゆっくり落ち着いて対応するよう心がけて下さい。



■子供を落ち着かせて何があったのか聞きましょう

子供に「もう大丈夫だよ」など優しい言葉をかけて、もう安全であることを伝えましょう。

子供を落ち着かせたら、何があったか聞いて下さい。



- ①何があったのか（駆け込んできた理由）
- ②いつ、どこであったか（時間・場所）
- ③ケガの有無
- ④犯人はどうか（付近にいる・逃げた）
- ⑤犯人の年齢、身長、体格、服装
- ⑥車種、ナンバー等（使用車両）

■速やかに110番通報して下さい

「こども110番の家」であることを伝え、子供から聞いた内容を説明し、警察官の質問に落ち着いて答えて下さい。



■警察が到着するまで、そのまま子供を保護して下さい

通報したら、警察官が来るまで家の中で子供を待たせて下さい。

警察官が来るまでの間、もう一度、子供から「聞き取りメモ」を使って、話を聞いて下さい。



子供から話を聞くときのポイント

- イスにかけさせるなどして、子供と同じ目線で話す
- 子供の体調に気を配る（ケガをしていないかなど）

★こんな時も…

子供が「トイレ貸して」「雨が止むまで待たせて」等の理由で訪れる場合があります。そんな時も思いやりのある温かい対応をお願いします。

聞き取りメモ

1 「何」がありましたか？

- ☐ 声かけ（言葉の内容）
- ☐ わいせつ（抱きつかれた、さわられた、露出）
- ☐ つきまとい（追いかけられた、待ちぶせされた）
- ☐ 連れ去り（腕を引っ張られた、車に乗せられそうになった）
- ☐ その他（ ）

2 「いつ」ありましたか？

時 分 ころ

3 「どこで」ありましたか？

場 所:

目標物:

4 「犯人」はどんな人？

男・女（ ）人 年齢（ ）歳位 身長（ ）cm位
体格（ やせ・普通・肥満 ） 髪型（ 色・長・短・坊主・他 ）
服装 上衣（ ） 下衣（ ）
顔型（ 四角・丸・逆三角・他 ） メガネ（ 有・無 ）
その他（ヒゲ、帽子 など）
逃走手段（ 車・自転車・オートバイ・徒歩・その他 ）



セダン



ミニバン



ワンボックス



クロカン・SUV



ステーションワゴン



小型車(軽四)



トラック



オートバイ

車の色()色
車のナンバー
名古屋・三河・豊橋・岡崎・
尾張小牧・一宮
豊田・春日井・他()

5 あなたのことを教えて下さい

名 前:
住 所:
学 校:

電話番号:

事件・事故 110番

警察署 -0110

病気・ケガ 119番

小学校 -